

令和3年12月12日(日) 正月準備 大しめ縄など製作

神社関係者及びOBの方々総出で行われました。大しめ縄など大量のしめ縄を製作します。

先週の篝火組み上げに続き今週・来週の準備を経て越年祭・元旦祭を迎える、一番忙しい月です。



しめ縄の製作開始 (8:52)



昨年の大しめ縄に合わせて、長さ・太さを調整



4人がかりで、治具を使って長いしめ縄を製作



2本完成、3本目を製作



続々としめ縄が完成



3本目の太さを調整



ベテランが細い縄を手で結んでいます



太い3本を左に撚り青竹に取り付け



しめの子を製作



大しめ縄を拝殿に取り付け



しめの子を取り付ける



紙垂を取り付ける



完成 (13:38)



古いしめ縄は篝火として燃やされます

しめなわ {標縄・注連縄・七五三縄} (シメは占めるの意) 神前または神事の場に不浄なものの侵入を禁ずる印として張る縄。一般には、新年に門戸に、また、神棚に張る。左捻(よ)りを定式とし、三筋・五筋・七筋と、順次に藁の茎を捻り放して垂れ、その間々に紙垂(かみしで)を下げる。(広辞苑より)

人から見たとき(下の図)に元の太い部分が右側に、紙垂は左下がりになるように飾ります。

